

職員会議・全体討議記入シート

氏名		職員会議実施日	令和 5年 7月 12日

令和5年7月12日職員会議検討テーマ

「子どもや大人に対する人権擁護(肯定的関心)のための自分自身の感情管理について」

討議の目的：子どもや大人に対する人権擁護を考える時に、我々はプロの仕事を求められていますが、他者との相性によって、感情管理が難しくなることがあります。

マルチトリートメント(不適切な関わり)・ハラスメントにならないようにするために

苦手な子どもや大人に対しても感情管理ができるようになるためには

どういうことに気を付ける必要があるか、各自、自問自答した内容を共有し全体で深める時間

にしたいと思います。

考えるためのキーワードを対比させて下記の通り記載しますので参考にしてください。

「人として許せない」と 「相手には自分自身が知らない物語がある」

「相手の欠点しか見えない」と 「相手の欠点は自らの弱点かも知れないと考えてみる」

「顔も見たくないという感情」と 「自らの非言語的コミュニケーションを意識する」

「他者受容ができない」と 「自分自身のダメな部分の自己受容を心掛けている」

「呼び捨て・乱暴な言葉遣い」と 「相手に敬意を払う言葉遣い」

「丁寧だが突き放した冷たい言葉遣い」と 「形式だけに囚われない温かな言葉遣い」

「刺激と反応の間に隙間がない」と 「自らのトリガー(引き金)を日頃から自覚しておく」

「今だけ、手っ取り早く対処する」と 「自分との関係(感情管理)が子どもや大人の数十年後の人間関係に影響を及ぼすかもしれないと考えてみる」

「相手の事情や物語など知ったことではない」と 「自分自身の物語の内省(生い立ちの整理)を心掛けている」